

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170400865		
法人名	有限会社 エーアステス		
事業所名	グループホーム Myほ〜む童里夢		
所在地	札幌市西区西野2条1丁目2番1号		
自己評価作成日	平成25年11月3日	評価結果市町村受理日	平成25年12月2日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=tr ue&JigvosyoCd=0170400865-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成25年11月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一昨年平和から西野に新築移転し、気持ち新たに、運営理念を目標に心温まる介護を行えるよう心がけ、入居者様と日々過ごしております。生活リハビリとしての家事、筋力低下予防のラジオ体操や歩行訓練、気候の良い季節には毎日町内を散歩しております。ADLの維持の為、出来る事を楽しく意欲的に行えるよう日々の会話・声掛けにも充分配慮し、自然に笑顔になるような関わりをしています。また、毎日のレクリエーションでは入居者様が好まれる歌やジグソーパズル・刺し子等、入居者様お一人おひとりに合わせた内容で行って頂いております。行事の際は外部からボランティアの方達に来て頂き、三味線演奏やお芝居等を鑑賞、入居者様が心から楽しいと感じられる内容を企画しております。外出レクリエーションにおいては四季の変化を感じられるよう、初詣・花見・盆踊り・紅葉狩り・イルミネーション見学等に出かけております。今年は久しぶりに泊りがけで温泉旅行にも行ってきました。ご家族様にはこういった外出の際のみならず体調の変化等、常に連絡を密にとらせて頂いております。ご家族様との会話により、一層入居者様の生活を知ることが出来、グループホームでの生活ではより細やかな関わりをする事が可能となります。この事により入居者様も日々穏やかに過ごし、認知症の進行を少しでも遅らせる事が出来ればと考えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1)アウトカム項目の自己評価が高いように、利用者(家族)のアンケート結果も満足度の高い評価を得ています。
2)運営推進会議は定期的に地元・家族・機関関係者の参加を得て開き、前回の議事録を確認し、継続的な運営の計画と執行の状況報告があり、年間の運営目的に沿って協議され、関係者に周知して効果を高める運営が行われています。
3)行事の多様さと豊かなレクリエーションの試みは、計画的で、ボランティア受け入れの努力とともに、利用者と家族の満足を得ています。
4)職員の取り組み姿勢はやさしく、丁寧で、よく利用者を観察し、その声を聴き、かつ専門職的で、利用者の個別的な自立支に配慮した、適切な対応に努めています。
5)ホームは地下鉄、国道などの交通至便な場において、小規模多機能事業所・高齢者マンションと一体になった運営母体の経営で、相互に有機的な連携の出来るホーム運営をしています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1〜55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 !該当するものに○印	項目	取り組みの成果 !該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日頃から地域とのつながりを密にするために職員間で話し合いを行い、地域の方々とコミュニケーションを取るよう心がけております。理念や組織については入職時新人研修を行い、業務を行う際実践出来るようにしております。	「事業に係るすべての人々の明るい笑顔と活気あふれる生活を目指す」との理念のもとに、地域に根差した運営と職員の資質向上に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、回覧板を通して町内会行事に参加し、顔見知りの関係を構築し交流を図っています。運営推進会議に参加して頂き、グループホームへの協力や理解が得られるように努めています。	町内会の一員としての連携ある活動とともに、運営推進会議には地域の関係者の参加を得て、積極的な意見を運営に活かしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議では職員が講師となり認知症についての勉強会を行い、入居者様の状況を説明しつつ、認知症の人への理解や支援の方法についてお話しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしています。	毎回利用者様の状況報告、サービスの状況や行事内容の報告を行い、参加された方達に意見をもらい、改善すべき点は話し合いをし、サービスの質の向上に努めています。	会議は定期的開催し、事業運営の連続性を大切に計画と執行の確認を求めるとともに、関係機関それぞれの役割を持つ参加者の意見を運営に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者とは行き来する機会はあまり多くはありませんが、2ヵ月に1回西区の管理者会議に出席し、区や市の職員と連携を図っております。	定例的な業務報告とともに、区・市関係機関との情報交換を図って適切な運営に活かしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないよう全職員が理解し、ケアを行い、特に経験のない新人職員に対しては内部・外部研修への参加、業務中にはその都度指導しております。ただし、現在拘束を行わざるを得ない入居者様がお一人おります。この事についてはご家族様に状況を説明し、ご理解の上了解して頂き、経過を記録しており、拘束中止に取り組んでいる状況です。	職員は業務サービス指定基準等に準じて、内外の研修等で資質の向上を図るとともに、利用者の権利擁護に立つ介護支援に理解を共有している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は虐待について外部研修や内部研修で学び、運営推進会議では包括支援センターの担当の方や民生委員、地域の方々や入居者様のご家族と話し合いを行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全職員が理解出来るよう内部研修での勉強会や外部研修での報告、資料を配布し常に学べる体制となっております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結ぶ際には契約内容、重要事項について十分な説明を行い、理解、納得して頂いています。解約・改定についても説明し、不安、疑問点の無いようにしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から利用者やご家族とコミュニケーションを密にし、意見・要望をお聞きするよう心がけております。不満や苦情についても苦情窓口を設置しており、そういった事があった際には傾聴の場を設け運営に反映出来る様にしております。	利用者・家族の意見反映は定例のホーム便り、個別的な連絡、訪問時の対応に留意するとともに、苦情窓口の対応や運営推進会議での議題とするなど運営に反映するよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1か月に1回ミーティングを行っており、職員の意見や提案を聞く機会を設けております。入居者の状態の変化や入・退院等、日々の中でも何かあれば話し合いをし反映で出来る様心掛けています。	定例的な業務上の会議があり、その都度、職員の意見の聴取に努め、それぞれの職位に応じた利用者対応への意見を運営に反映するよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は個々の勤務状態を把握し、向上心を持って仕事に取り組む事が出来る様、常日頃より職員とコミュニケーションを取り、働きやすい環境づくりに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修や内部研修・外部研修の参加、報告と日々のケアの中で必要に応じて指導を行い、職員のモチベーションを高め、スキルアップに努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者会議への出席、他のグループホームや小規模多機能施設との合同の行事への参加をする事で交流		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。	コミュニケーションを大事にする事で入居者様の性格や個性を理解し、それらを尊重したサービスを提供するよう心がけています。信頼関係を築き、ご本人様らしい生活を送れるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望には真摯に向き合い、困っていること・不安なことに丁寧に回答を述べる事で良好な関係を築く努力を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の要望をよくお聞きし、ご本人が生活する上で必要としている問題点を考慮しつつ、ケアプランを作成、支援させて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様を家族と思い、入居者様の気持ちや考えを尊重しつつ、共に過ごしています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の要望や状況を把握しご家族に報告、共有する事で共に入居者様を支援していくように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族やご友人が面会に来設された時には、気軽に過ごせる場を提供させて頂いております。その際には安全の為、身元の確認をさせて頂いております。	入所時に馴染みの関係等情報収集に努め、これを活かすとともに、来訪者には身元を確認し、安全と雰囲気づくりに留意している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々のレクリエーション等では職員が間に入り、入居者様同士が楽しく関わり合えるような関係を築けるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続して良い関係が保てるように、必要に応じて付き合い等を行わせて頂いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話から言葉を汲み取り、記録し職員間で話をして情報を共有しております。又、困難な希望や思いが伝えられない方には、出来るだけ希望に添える様なものを提供しながら、その人らしい生活が出来る様に支援しております。	職員は日常の会話での思いや意向を傾聴し、必要に応じて記録にとどめ、共有して、個々の困難に対応できるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前にご本人様、ご家族様より入居前の生活について充分にアセスメントを行い、それに添えるように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員間の情報共有を基に、入居者様の行動を把握し、その方に合った日常生活が送れる様に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族の希望を基に、カンファレンスにて、ケアを中心として意見やアイデアを出し合いながらケアプランの作成を行っています。	介護計画は本人の状況・家族の意向を受け止め、全ての職掌に応じた意見を纏めて、家族の了解を得て介護計画を策定し、継続観察して次の課題に対応している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や変化、気づき等を個別ノートに記入し職員間で情報を随時共有しております。また、ケアプランの見直しにも活用しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同系列の事業所と連絡等を取り、ご本人やご家族のニーズに応じた支援を行わせて頂いています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練には入居者様にも参加して頂いております。町内会のごみ拾いにも参加させて頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関から2週に1回の訪問診療を行っております。また、個々のかかりつけ医に定期的に受診し、協力医との連携もとれています。	連携医療機関の定期的訪問診療を行うとともに、個々のかかりつけ医も定期的に受診、両者の状況を整合して支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	心身共に変化があった時等は直ぐに看護師に相談し、適切な処置や受診が受けられるよう日常の健康管理をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はご本人の生活状況をお知らせすべく基本情報をお渡しする等、安心して治療を受けられるよう配慮しております。退院時は医療機関と相談しながら、ご本人の意向もお聞きし対応しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期のあり方については出来るだけ早い段階で、ご本人・ご家族・医師・看護職員・管理者で話し合いがなされ、職員同士ケアの方針を共有しながら対応する体制になっています。	個々の重度化や終末期の対応は定期的診療過程を踏まえ、その状態に応じて家族・連携医療機関との情報交換を密にして具体的対応を協議している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応策のマニュアルを作成し、応急手当については看護師、または消防施設での訓練などで行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防職員と共に施設内で定期的に避難訓練を行っております。また、毎年防災センターへ全職員で行き、見学や体験を行っております。	年2回消防署に計画を示して避難訓練を実施している。推進会議では地域との協力関係を議題にして連携に努めている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様個々を十分に把握し、誇りやプライバシーを損ねる事のないようミーティング等で話し合わせ、ケアの統一が図られています。	全員が家族のようなかわりを心がけ、個々の生活歴や誇りを損なうことのないよう、言葉かけや丁寧な聞き取りに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己表現がなかなか出来ない方には、時間をかけ職員から声掛けし、思いや希望を表せるよう働きかけ、対応しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての1日の基本的な流れはあるが個々のペースや体調に合わせ、急かす事無くその人らしい生活を送れるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問理容を利用したり、毎朝や入浴後に職員が支援し整えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	体調と意思の尊重を大切にしながら、ご本人様と力を合わせて食事の準備をしております。いつもの食卓で他利用者様と食事が出る喜びを感じて頂ける様、下膳・食器拭き・米研ぎ等にも参加して頂いております。	利用者が喜び楽しみながら、それぞれの力に応じて食事の準備・片付けなどに参加できるよう促がし、個々への環境作りに努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による栄養バランスの献立に添いながら一人ひとりの状態によって形容を変えております。水分も嗜好にあった物を摂って頂いております。摂取状態もその時々にて介助し、食事・水分量を記録して必要な栄養量を確保出来るように支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛け・見守り・介助にて口腔ケアを行って頂き、残歯と歯茎の健康維持・義歯洗浄・うがいもしっかり取り組み、歯科医との連携を図りながら口腔状態の確認をしております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご本人様の排泄のサインや時間間隔のパターンを考慮し、それに添った介助支援をしております。体調・食事・精神面で変化する為、声掛けや誘導に配慮しながら排泄記録を見、不快感や失敗を減らす様に支援しております。	利用者個々の日常の動作やパターンを記録して共有するとともに、体調・食事・精神状況などの変化にも留意して、本人が不快感や失敗を少なくするよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食前の牛乳等で腸内刺激や家事・清掃への参加、朝のラジオ体操・施設内外での歩行運動を日常的に行っております。食事は繊維質の多い物を多く取り入れる様に考慮して頂いたり、水分補給をこまめに行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調やその日の気分に応じて無理強いはせず気持ちに寄り添って入浴して頂いております。記録にて入浴間隔があかない様に配慮しております。	入浴は無理なく、自然体で、本人の意向に沿いながら、時に促がして適時の入浴支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人に合った場所や時間で休息を頂いております。日中は活動的に過ごして頂いております。又夜間は照明等に配慮して安心・安全に入眠出来る様に対応しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の用法・用量を職員全体で把握し、見守り介助にて服用して頂いております。医師・看護師の指示により薬の増減調整をし、個々の症状の変化と確認をしながら支援しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各利用者様には頼られる役割を持って頂き、心の糧となるように支援しております。祝い事・季節毎のレクリエーション・晴れた日の散歩等により幸福感や気分転換になる様に支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い日には近所に散歩に行っております。外出は個々の希望に添ったプランを立て、安全に出掛けられる様に思案して状況によってご家族様に協力を得られる様にしております。	ホームは琴似発寒川沿いにあり、堰堤沿いや近隣公園などへ、個々の希望に沿って散歩に出向き、外気や季節を感じている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様と相談し職員管理をさせて頂いておりますが、ご本人の欲しい物や使用時には随時支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在は要望はありませんが、ご本人の意思を尊重するよう支援させていただきます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節等感じる様なカレンダー作りや飾り付けを利用者様と共に一緒に作業する事で季節を感じながら楽しく作業をして頂いております。又、季節の花等も飾る様に心掛けております。	居間(共用空間)は各居室の中央に位置して集いやすく、南に面し、温、湿度の調整とともに、川の流れを眺めて季節を感じ、ボランティアの活動と多様な行事・レクが企画され日常の楽しい場となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者様同士リビングのソファに座られて会話を楽しまれたり、一人掛け用の椅子に座られたり、食堂の椅子に座られてゆっくりとご自分の時間を作れるように配慮しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の写真や昔馴染みの家具などを配置したり、職員がお誕生日等で贈った手作りのカードも飾り、穏やかに安心して過ごせるように配慮しております。	利用者個々の趣向や家族の意向を受けて、馴染みの調度や写真、手作業の作品などを飾り、居心地よい雰囲気の居室づくりを支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂場等、わかりやすく案内板を使用し、施設内は手すりを設置しており安全に移動歩行が出来る様にしており、廊下等に物を置かない様に気を付けております。		